事業所名	ワンステップスマイル橋本教室（単位１）	支援プログラム	作成日	令和7 年	3 月	30 日

法人（事業所）理念		障がいの有無に拘わらず全ての子どもが意見を表明する権利の主体であることを認識し、その機会が確保され年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され子どもの最善の利益が優先考慮されるよう、取組を進めます。その際には、言語化された意見だけではなく、子どもの障がいの特性や発達の程度をよく理解した上でその特性や発達の程度に応じたコミュニケーション手段により、例えば目の動きや顔の向き、声の出し方といった細やかな変化や行動を踏まえ、様々な形で発せられる思いや願いについて丁寧に汲み取って行きます。							
支援方針		子どもの発達全般や障がいの特性等を理解し、子ども自身一人ひとりが内在的に持つ力を発揮出来るよう支援すると共に、家族の支援にあたっても家族自身の内在的に持つ力を発揮出来るよう、エンパワメントを前提とした支援をします。							
営業時間（平日）			9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり ・ なし	
営業時間（学校休日）			9 時	0 分から	18 時	0 分まで			
		支　援　内　容							
本人支援	健康・生活	子どもの心身の状態をきめ細かに確認し、平常とは異なった状態を見つけ出し、必要な対応をする事が重要である。睡眠や食事・排泄等の生活習慣を形成し、健康状態の維持改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援する。							
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。活動や遊びを通して五感（聴覚、視覚、触覚、味覚、嗅覚）を育み、想像力や思考力を高めていけるように支援する。							
	認知・行動	イラストやタイマーを使用し、見通しを立てたり、順番を守る等をしつつ（具体的に自分の番が認識しやすいように数や時間を伝える）、集団行動のペースに合わせて楽しく活動に参加出来るように支援する。							
	言語 コミュニケーション	発達障がいのある子ども等、障がいの特性に応じた読み書き能力の向上の為の支援を行う。							
	人間関係 社会性	子どもが基本的な信頼感を持つことが出来るように環境・人・自分に対する信頼感を育む支援をする。自身の感情が崩れたり、不安になった際に大人が相談に乗ることで安心感や感情の折り合いを付けたり出来るよう支援する。							
家族支援		支援においては本人の状況や家庭の状況等を踏まえるとともに、保護者の気持ちを受け止め、子ども本人と保護者との相互の信頼関係を基本に保護者の意思を尊重し、寄り添い保護者と児童の持つ強みを引き出す支援が必要。					移行支援	子どもが通う保育所等や通う予定の学校・放課後児童クラブとの情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、児童発達支援計画の作成又は見直しに関する会議を開催する。	
地域支援・地域連携		児童発達支援を利用する子どもが地域の様々な場面で適切な支援を受けられるよう関係機関等と連携する事が重要であることから、普段から地域全体の子育て支援を活性化する為のネットワークを構築しておくと言う視点が必要である。					職員の質の向上	職員が事業所に於ける課題について共有し、主体的に学び合う姿勢が重要である。事業所に於いても職場研修を実施し外部で行われる研修等へ参加し、職員が知識・技術の習得ができるようにする必要がある。	
主な行事等		季節の行事・・・クリスマス会、ハロウィン、海遊び、スポーツ活動（陸上・球技）調理、夏祭りその他、防災避難訓練など。							